

## ■ 工学部

建設学科  
建築学コース 教育プログラム・シラバス

取得学位の名称  
◆学士（工学）

### プログラムの概要

建設学科建築学コースは、幅広い知識と高度な専門技術を有する建築家・建築技術者・研究者および教育者の育成を目的としています。わが国で建築学と呼ばれている分野は非常に多岐にわたり、国土計画・地域計画・都市計画・建築計画・建築設計・建築意匠・建築環境工学・建築設備・建築構造・建築防災・建築材料・建築構法・建築経営・建築史などの分野があります。一級建築士や技術士の国家試験の受験には、これら建築全般にわたる知識と設計の能力が要求されます。

### 修了認定の基準（ディプロマ・ポリシー）

建築学コースでは、ディプロマポリシーとなる以下の9つの学習・教育目標を定めています。

1. 科学技術に対する共通のリテラシーを身に付ける
2. 多様な主体との間で意思疎通が図れる能力を身に付ける
3. 人間と社会に関する教養を身に付ける
4. 建築技術者としての倫理観を養う
5. 自然現象のメカニズムを理解し、建築技術に活かす能力を身につける
6. 人間および社会の要求・条件を理解し、建築空間・環境・制度を構築する能力を身に付ける
7. 資源活用と建設プロセスを構想し、建築として実現する能力を身に付ける
8. 歴史文化を尊重し、目標を立てて建築を創造するデザイン能力を身に付ける
9. 工学と芸術のバランスのとれた感性を磨く

この学習・教育目標に沿って、定められた規程分野ごとに単位を修得する必要があります。

### 履修条件（アドミッション・ポリシー）

求める学生像

- ・ 建設の専門技術を学ぶために必要な幅広い基礎学力を有する人
- ・ 人間生活・社会・自然を含む地球環境と建築との関わり学ぶ熱意がある人
- ・ 歴史・文化・芸術を活かした空間創造を迫る意欲のある人

これらを判断するために、以下のような基本方針で入学者の選抜を行っています。

入学選抜の基本方針

- ・ 高等学校の教育課程を尊重し、基本的な学力と思考力を備えているかどうかを重視します。
- ・ 建築系分野に対する熱意と理数系分野に対する能力を評価の対象とします。
- ・ 主体的な姿勢、論理的思考力、空間的把握能力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

### 学習・教育目標を達成するためのカリキュラム方針（カリキュラム・ポリシー）

建築学コースでは、数学、物理学などの理数系基礎科目、英語や情報処理基礎、そして人文科学系、社会科学系、自然科学系および健康科学系の科目などを履修することで、社会人・技術者としての幅広い教養とリテラシーを身につけ、専門科目履修のための基礎を形成します。これらは主に1～2年次に履修します。

建築学コースの専門科目は主に2年次以降であり、必修科目と選択科目とから構成されます。必修科目は、建築学全般について基本的事項を学習するためのものであり、定められた全ての科目を履修するように学問上の体系と学習の順序が考慮されています。選択科目は、やや専門化した分野について学習するためのもので、上記のような各専門技術者向きの内容の選択を可能にし、各自の将来の進路に適した知見が習得できるように構成されています。卒業設計と卒業論文の両方が必修科目であることが特徴であり、習得した幅広い建築に関する知識の集大成として卒業設計を行い、各自でテーマを定めて習得した高度な専門技術を発展させて卒業論文をまとめます。

工学部建設学科建築学コース・カリキュラムツリー

	一年次		二年次		三年次		四年次	学習・教育目標
	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
学部基礎科目または基礎教育科目	Integrated English I A・I B	Integrated English II A・II B	Advanced English I	Advanced English I (IR)				(1)科学技術に対する共通のリテラシーを身に付ける
	情報処理基礎	スポーツと健康	微積分学Ⅰ	微積分学Ⅱ				(2)多様な主体との間で意思疎通が図れる能力を身に付ける
工学のあり方と専門の基礎を学ぶ	人文科学系科目・社会科学系科目・自然科学系科目・健康科学系科目・総合系科目・初習外国語系科目・基礎キャリア教育科目	新入生セミナー	線形代数Ⅰ	線形代数Ⅱ	偏微分方程式・情報論・数値解析学	振動論、計画数学		(3)人間と社会に関する教養を身に付ける
	力学	波動・熱力学	基礎電磁気学	物理学	量子物理学	統計物理学		(4)建築技術者としての備理観を養う
建設学科建築学コース専門科目	基礎化学Ⅰ・Ⅱ	基礎材料化学A・同B	他学科の概論	ものづくり実践講義	工業日本語基礎Ⅰ	工業日本語基礎Ⅱ		(5)自然現象のメカニズムを理解し、建築技術に活かす能力を身に付ける
	創成工学実践				工業日本語基礎Ⅰ	工業日本語応用		(6)人間および社会の要求・案件を理解し、建築空間・環境・制度を構想する能力を身に付ける
建築学の基礎と応用を学ぶ	建設学序論	建築情報デザイン	測量学	建築学外実習Ⅰ・Ⅱ	建築学外実習Ⅰ	建築学外実習Ⅱ		(7)資源活用と建設プロセスを構想し、建築として実現する能力を身に付ける
	建設図学Ⅰ	建築図学Ⅱ	建築設計製図Ⅲ	建築設計製図Ⅳ	建築設計製図Ⅴ			(8)歴史文化を尊重し、目標を立てて建築を創造するデザイン能力を身に付ける
建築環境建築設備	建築図学Ⅱ	建築計画Ⅰ	建築設計製図Ⅲ	建築設計製図Ⅳ	建築設計製図Ⅴ			(9)工学と芸術のバランスのとれた感性を磨く
	建築計画Ⅱ	都市計画	建築計画Ⅱ	建築計画Ⅲ	建築計画Ⅳ			
建築材料建築構法	歴史・意匠	歴史意匠Ⅰ	歴史意匠Ⅱ	歴史意匠Ⅲ	建築デザイン			
	建築構造	建築構造力学Ⅰ	建築構造力学Ⅱ	建築構造力学Ⅲ	構造設計論			
建築環境建築設備	建築環境	建築構造力学Ⅰ	建築構造力学Ⅱ	建築構造力学Ⅲ	建築環境実験			
	建築設備	環境工学Ⅰ	環境工学Ⅱ	環境工学Ⅲ	建築環境実験			
建築材料建築構法	建築材料	構法設計	構法設計Ⅰ	構法設計Ⅱ	建築材料Ⅰ			
	建築構法	建築構法	建築構法Ⅰ	建築構法Ⅱ	建築材料Ⅱ			
	基礎段階				応用段階		総合段階	
	卒業設計・卒業論文							